



青森県 五所川原市

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1

担当課：五所川原市役所

☎0173-35-2111 FAX0173-35-2130

http://www.city.goshogawara.lg.jp/index.html

Eメール:kenkousuisin@city.goshogawara.lg.jp

本市のデータ

(1) 面積 404.56km²

(2) 人口

H12国調	H17国調	H22国調	H27国調	H31.3末住基
63,208	62,181	58,421	55,181	54,318
65歳以上人口比率 34.0% (H31.3末)				

(3) 世帯数

H12国調	H17国調	H22国調	H27国調	H31.3末住基
21,412	22,067	21,277	21,143	25,511

(4) 沿革

平成17年3月28日、旧五所川原市、旧金木町、市浦村が飛び地合併をする。

(5) 産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	H17国調	H22国調	H27国調
一次	4,596 16.5%	3,833 15.0%	3,704 14.1%
二次	6,196 22.2%	5,231 20.5%	5,157 19.7%
三次	16,922 60.7%	16,501 64.5%	16,512 63.0%



本市の概要



立佞武多
たちねふた

五所川原市は、津軽平野のほぼ中央に位置し、津軽三味線発祥の地です。作家太宰治の生家

「斜陽館」、中世安藤氏の十三湊遺跡群、さらには、知名度が全国区となった地元の祭り「五所川原立佞武多」といった歴史文化資源を擁し、農林水産業を基幹産業とする豊かな自然に恵まれた田園都市です。世界的にも珍しい果肉・花・若葉・枝までもが赤い「赤〜いりんご」があり、ワイン・ジュースなどの加工食品が生み出されています。また、十三湖で採れる蜆は、古くから人々の暮らしを支え、多くのひとに愛されています。



斜陽館



十三湊

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成31年3月「五所川原市いのち支える自殺対策計画」を策定。

本計画は地域福祉施策の柱である五所川原市地域福祉計画と同様、「支えあいのできる安心ができるまち」を理念とし5つの基本目標を掲げ、2019年度から2023年度までの5年を計画期間として各種自殺対策に取り組む。

- 基本目標1 地域におけるネットワークの強化
- 基本目標2 住民への周知と啓発
- 基本目標3 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
- 基本目標4 自殺対策を支える人材の育成
- 基本目標5 生きることの促進要因への支援

五所川原市
いのち支える自殺対策計画

一人て悩まないで。

自殺は防げます。

平成31年3月
五所川原市

＜具体的な取組み＞

当市は、平成18年度から自殺対策への取組みを続けていますが、直近の取組みは下記のとおりです。

＜平成30年度＞

(1) 計画

いのち支える自殺対策計画策定（平成31年3月）

五所川原市ホームページ掲載

<http://www.city.goshogawara.lg.jp/kenkou/kenkou/jisatutaisakukeikaku.html>

(2) 普及啓発

広報誌・ホームページ掲載（自殺予防週間等を活用）、こころの相談窓口カードを作成

(3) 児童生徒とSOSの出し方に関する教育

小学校5・6年生・中学生を対象にストレスとの付き合い方や信頼できる大人への相談方法について、保健師が出張授業をおこなう

(4) 人材育成

ゲートキーパー研修

①市役所職員対象の資質向上のためのゲートキーパー研修

②ゲートキーパーの養成（地域の活動団体や町内会へ働きかける）

※（3）（4）は、特定非営利活動法人「ほほえみの会」へ一部委託実施

(5) こころの相談

毎月第3木曜日 保健師・心理士（年3回）が個別相談に応じる。